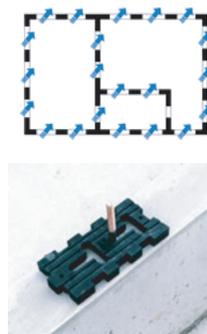
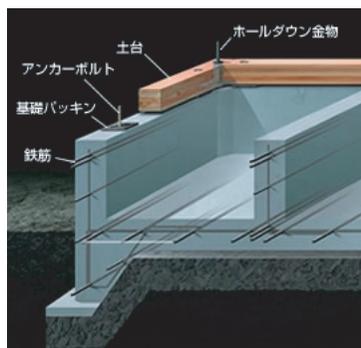


# 明治ホームズの家づくり

## 基礎パッキン工法 + 土台



木造住宅の基礎の上には、土台（どだい）と呼ばれる材料があります。

このキソパッキン工法は、土台が湿気を吸収するのを防ぎ、防蟻・防腐に高い効果を発揮します。

この工法は、床下前面通風を可能とし360度どの方向からでも換気可能としています。

つまり、床下は常にドライな状態を保てるというわけです。

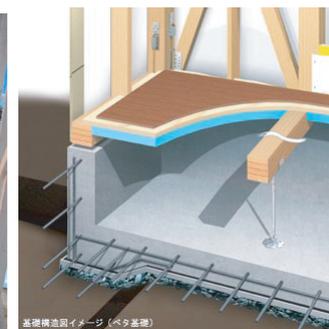
床下全域の湿気を排湿できる良好な床下環境をつくることで断熱材の性能を維持。

さらに土台の腐れを防ぎ、シロアリや腐朽菌を寄せつけない好条件をつくることとなります。

明治ホームズでは、土台に檜（ヒノキ）を使用。ヒノキは常緑針葉樹で本州中部から九州地方に分布。木曽檜が有名。

非常に狂いが少なく加工が容易です。耐湿・耐水性もあることから構造材・造作材・家具材とあらゆる建築材として使われています。

## 剛床（ごうゆか・ごうしょう）



明治ホームズの床は床下地合板（24mm）+床材（12mm）の二重貼りです。ネダ（根太）レス工法とも呼ばれます。

床下地合板は地震が来たときにとても効果があります。

特徴は、床を完全に固定することで住宅全体の剛性を高めます。

さらに、床の二重貼りは、夏場の空調の効き・冬場の底冷えに効果があり、省エネルギー性もアップしています。

2階・3階建の上階の床も1Fと同じく、床合板+床材二重貼り。強度と耐久性も格段にアップします。